



ばるっこ

学校教育目標

～豊かな感性、確かな学力を身に付け、
たくましく未来を拓く子どもの育成～
中原小 めざす3つの「あ」

あいさつ ありがとう あきらめない

北九州市立中原小学校 校長 針尾 泰久

通知表「あゆみ」はこのように見てください（その1）

前期も残りわずかとなりました。6日（月）、7日（火）の個人懇談会にはお忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございました。前期終業式の日（10日）には、通知表「あゆみ」をお渡しします。「あゆみ」では、一人一人のよさや可能性を伸ばし、確かな学力をつけていくため観点別の評価を重視とともに、成長や努力を認め励ます視点で、学校生活や学習の様子等を連絡しています。くわしい見方や活用の仕方についてお知らせいたします。

「前期の生活の様子」

10の項目について、他の子どもとの比較ではなく、その子自身の中で特に「よい」ところとして認められる内容に○を付けています。○は、どの子にも1～2個程度付いています。その項目は、今期のよさとして目立った内容です。今後、より一層伸ばしていけるよう励ましてください。

「前期の各教科における観点別の学習の様子」

各教科の内容の定着の様子が分かるよう、観点別の目標に準拠した評価を行っています。ご存じだと思いますが、令和2年度から評価の観点が、4観点から3観点になっています。これも、他の子どもとの比較ではなく、各教科の学習ごとに設けられている評価の観点に照らして、その子の学習状況を評価するものです。例えば、5年社会科で「我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解しているとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめている」（知識・技能）ことが、今期おおむね達成できていれば「よい」です。達成できていなければ「がんばろう」です。したがって、「よい」をめざして学習に励むことが大切であり、「がんばろう」の内容は後期に達成を目指してほしいと思います。「たいへんよい」は、目標を達成したか判断する規準を大きく超えているものです。例えば、「走り高跳び（陸上運動）では、「走り高跳びの行い方を理解している（知識）」、「5～7歩程度のリズミカルな助走から力強く踏み切って跳ぶことができる（技能）」の両方ができている状況で「よい」となります。しかし、その中で、例えば「なぜ、自分が高く跳べるのかの理由が分かり、それをもとに友達にアドバイスできる」など特別に優れた内容が非常に多く認められれば、それが「たいへんよい」となります。ですから、「たいへんよい」は少ないとお考えください。

「前期の出欠の記録」

学期ごとに集計した出欠状況をお知らせしています。年度末には、1年間の合計もお知らせします。